

令和3年度 生野区の取組み(素案) (まちの未来部会:抜粋分)

令和2年度生野区区政会議
第2回まちの未来部会



令和3年1月



目 次

・ 生野区将来ビジョン 2018-2021	3
・ いろいろ豊かな魅力のあるまち への課題	4
・ 令和3年度 主な取組	5
・ (1-1) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援	6
・ (1-2) 空き家の利活用による新たな魅力づくり	8
・ (1-3) 学校跡地を核としたまちの活性化	10
・ (1-4) 持続可能な地域公共交通の推進	12
・ (2-1) 「生野の魅力」の発掘・浸透	14
・ (2-2) 区民のわがまち意識を育てる	17
・ (3) まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進	19

生野区将来ビジョン 2018-2021

誰にも「居場所」と「持ち場」があり

「持ち場」が「つながって」いくまち をめざして

未来志向のまちづくり

【くらしの安全・安心部会】

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち

しっかりしたセーフティネットのもと、ひとりも取りこぼされることなく、みんながお互いに思いやり支えあい助けあえるまち

【こどもの未来部会】

子育てにやさしく教育につよいまち

安心して子育てができる環境のもと、未来あるこどもたちがいきいきと学び成長していくまち

【まちの未来部会】

いそどり豊かな魅力のあるまち

たくさんの方が訪れ、住んで、住み続けたいと思えるような、いろんな世代にとって住みやすく多彩な魅力のあるまち

『いそどり豊かな魅力のあるまち』への課題

～「令和3年度 生野区運営方針（素案）」より～

- 区の人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちとなるためには、主に**若年・子育て層の移住・定住を促進**させることが必要。
- 区の重要な地域資源のひとつである**製造業事業所数の減少を防ぐ**ためには、次世代の育成や住工混在問題の解決のため、**ものづくり企業の重要性を周知し、区民の理解を図る**ことが必要。
- 区の**空家を地域資源として、建物所有者による自主的な利活用**が進むよう、地域主体の取組への支援が必要。
- 区に存在する多様な地域資源を発掘し、魅力あるものに高めていくとともに、**区民のまちに対する愛着や誇りが高まる**ような取組や区の魅力・特色を区の内外に向けて効果的に情報発信し、**区に訪れ、住んでもらえるよう戦略的なプロモーション**が必要。



令和3年度
主な取組

地域資源から魅力資源へ

ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために
空き家の利活用による新たな魅力づくり
学校跡地を核としたまちの活性化 等

生野区シティプロモーション

「生野の魅力」の発掘・浸透
区民のわがまち意識を育てる

地域社会における住民自治の拡充

まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進

(1-1) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援

区予算算定見込額 222千円

◆現状・課題

- 少子高齢化、若者のものづくり離れにより、**後継者が不足し、技術の継承が困難**な状況
- 地域活性化の観点からも、**住民のものづくり企業への理解度を促進**することが必要。

◆具体的な取組

- **次世代育成を目的としたイベント**（1回以上開催）
- **区内企業への見学会など**（随時開催）
- **「ものづくり百景」を活用したPR**（随時）



こども工作教室の様子



工場見学の様子

(1-1) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援

◎業績目標

- 次世代育成を目的とした
イベントなどへの参加数
：100人以上
- 区役所ホームページの
ものづくりページのビュー数
：2,400件/年



ものづくり百景イメージ



ものづくり百景PRチラシ



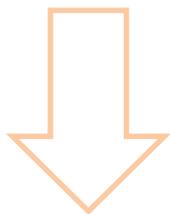
みんなの文化祭 (ものづくり百景コーナー)の様子

(1-2) 空き家の利活用による新たな魅力づくり

◆現状・課題

区予算算定見込額 346千円

空き家の増加は、コミュニティの衰退やまちの魅力の低下など、地域の課題に。一方、長屋については住みたい方も多く人気があるが、**不動産市場には出てこない**。



◆参考データ（平成30年住宅・土地統計調査）

- ・空家率 19.9% (5位/24区)
 - ・その他の住宅※ 5,870 (1位/24区)
 - ・長屋率 11.6% (1位/24区)
 - ・長屋の木造比率 11.2% (1位/24区)
- ※その他の住宅とは、二次的・賃貸用・売却用以外の空き家を指す。

地域と連携し、まちづくりの一環として空き家等を活用した地域活性化へ取り組む

◆具体的な取組

- **空き家シンポジウムの開催**（1回）
- **空き家の活用事例の紹介**（随時）
- **空き家物件情報の提供**（随時）
- **地域が主体となった空き家対策会議**（随時）
- **空き家所有者の所在・活用意欲実態調査**（随時）

(1-2) 空き家の利活用による新たな魅力づくり

◎業績目標

空き家利活用に関する取り組みが進んでいると感じる区民の割合
: 33%以上*



生野空き家シンポジウムの開催

「生野のまちが好き」
そんな人がららっと集まり、
何かが始まる場所

ここは「生野のまち」創設から70年経ち、ここが地元で愛されてきた「てんぷら屋」だったから、という理由でも行けなかった。

昨年3月、バス停すぐの4階建の角地を、生野が好きなら集らうと集まり、「こんなことしたい」、「こんなことならいい」、「これこれやりたい」ならおもしろいんじゃない? そんな声に耳を傾けたい。それがカタチになっていく。そんな集まりに身をつけてほしい。そう願うのは「一般社団法人いくちりバ」の代表、本村さん。(写真上)

「いくちりバ」その成果は、「生野を守り、生活を盛り上げる、生野のまちをよりよくする」から、「生野のまちをよりよくする家をつくる」。それは「いくちりバ」が取り組む、みんなでするべきこと。これからの生野のまちづくり、これからのこと。生野のまちづくり。この生野の生野バージョンは、僕たちと一緒です。生野のまちづくり。生野のまちづくり。生野のまちづくり。

★お問い合わせ 生野4-2-18 ☎0718-55550

ブログでは写真を掲載して紹介しています。

生野区民で、古い家屋をリノベーションし、住居として活用している方を紹介してください。

お問い合わせ ☎0718-94831
7548-8501 生野区民センター3-1-10

★空き家の相談はコチラ
☎0718-94831

空き家の活用事例の紹介

(1-3) 学校跡地を核としたまちの活性化

区予算算定見込額 95,921千円



- 生野区の西部地域は密集住宅市街地で、防災上危険なエリアに指定されているため、学校再編により生じる跡地は本市特例として売却せずに地域の避難所として残し、あわせて地域コミュニティ拠点とまちの活性化に向けて持続可能な活用へ
- 令和元年6月に策定した「**生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想**」を基に、「**みんなの学校**」「**まちぐるみ教育**」というコンセプトのもと、各学校の跡地活用のあり方を検討する

(1-3) 学校跡地を核としたまちの活性化

【具体的取組】

- 生野区西部地域学校再編整備計画の進捗にあわせて、地域ニーズ、事業者ニーズを踏まえて策定した各学校の跡地活用計画案（基本計画・事業計画）をもとに、跡地活用の運営に向けた準備に取り組む
- 活用計画案を策定した小学校跡地から順次、活用に向けた市場調査（マーケットサウンディング）を行い、事業者ニーズ・意見等を踏まえながら、公募条件等を整理のうえ、活用事業者の公募を開始するとともに、活用に向けた商品化を進める

【業績目標】

- ▶ 活用事業者の公募開始：
生野小、生野南小、林寺小
- ▶ 活用に向けた商品化：
御幸森小、生野小、生野南小、
林寺小



(1-4) 持続可能な地域公共交通の推進

区予算額 250千円

◆現状・課題

- バス交通体系の見直しにより、路線変更等が実施され、高齢者や障がい者の方の移動手段の不便が生じており、地域の特性や実情、区内住民の移動手段のニーズにあった安定的な交通体系の実現が求められている。
- 日常生活の移動に影響のある地域が存在し、さらに、近年高齢者の免許返納などの社会環境の変化により、公共交通の重要性・必要性はますます高まっている。

◆具体的な取組

- ①生野区地域公共交通検討会の実施
- ②福祉こうつう会議の実施

(1-4) 持続可能な地域公共交通の推進

◆業績目標

「生野区地域公共交通検討会」などにおける「新たな地域公共交通」の認知度、理解度 70%以上



地域公共交通検討会の様子（令和2年度）

(2-1) 「生野の魅力」の発掘・浸透

区予算算定見込額 25,700千円

◆現状・課題

生野区に住んでいる方が感じている区の魅力や、子育て層が移り住みたいと思う情報、若者が訪れたいくなるような情報を積極的に発信し、**生野区の魅力を発掘・浸透させていく必要がある。**



生野区のまちを持続可能で発展するまちとするため、区内の魅力の発掘・発信や資源（ヒト・モノ・カネ）の循環の活性化、**特に、若年・子育て層への効果的な情報発信**に取り組む。



(2-1) 「生野の魅力」の発掘・浸透

◆具体的な取組

●広報紙の多言語翻訳版をアプリ配信●特集・連載記事の作成：毎号



- ブログ・ツイッターなど各種広報ツールを活用し、まちに魅力を発信（随時）
- 各種施策・イベント等のプレスリリース、メディアへの情報提供（随時）
- 生野区まち情報サイト「いくのぐらし.com」との連携を行う（通年）
- 官民連携した体制の推進（次ページ）

◎業績目標

- 公式ブログのビュー数の年間目標：18,000件
- 提供した情報がメディアで取り上げられた回数：12回以上（毎月1回を目標）

(2-1) 「生野の魅力」の発掘・浸透

生野シティプロモーション推進体制

【生野区役所】 シティプロモーションの方向性と取り組む事業を連携し、
区独自の情報発信、統一イメージの創出及び官民連携を推進する

企画総務課

- ・広報紙の企画、作成、配布
- ・区のHP、SNS発信
- ・企業や各種団体との連携
- ・区民アンケート
- ・キャラクターやロゴの活用

地域まちづくり課

- ・「いくのの日」の推進
- ・企業や各種団体との連携
- ・イベントの企画、運営
- ・地域のトピックス収集
- ・「ものづくり百景」

各課

それぞれの事業やイベントの企画・運営や周知を広報担当と連携しながら効果的に行う

【関係団体】

子ども・子育てプラザ

- ・子育て情報の収集、発信
- ・地域子育てサロンの活性化
- ・子育てイベント企画

生野まちづくりセンター

- ・地域情報の収集、発信
- ・地域の広報力向上支援
- ・まち情報の収集、提供

- ・IKUNO多文化ふらっと
- ・クロスベース
- ・いくのもり[※] 等

※官民連携組織から生まれた団体

【官民連携組織】

生野産業会

各種団体

各企業・店舗

クリエイター
デザイナー等

連携



区役所

官民連携で、まち情報の発信や魅力スポット・商品開発などを行う組織